

国際大会参加報告書

平成20年 11 月 18日

社団法人 日本ボディビル連盟
会長 玉 利 齊 様

報告者 朝生照雄 ㊞

大会名	第1回アジアビーチゲームズ(2008/バリ)				
開催期間	2008年 10月 16日 ~ 2008年 10月 22日				
開催場所	国名: インドネシア共和国		都市名: バリ島		
参加国数	23 カ国		参加選手数	71 名	
役員		役員名	役職・他		
	団長	吉田 進	社団法人 日本ボディビル連盟副会長		
	監督	朝生照雄	選手強化委員長		
	コーチ	青田正順	ドーピングコントロール委員会 事務局長		
通訳					
選手	選手名	所属連盟	カテゴリー	順位	備 考
	小久保一美	東京都	60kg級	5位	13人中
	津田 宏	東京都	65kg級	6位	12人中
	合戸 孝二	静岡県	70kg級	5位	12人中
	谷野 義弘	東京都	75kg級	5位	12人中
	鈴木 雅	東京都	80kg級	5位	13人中
	下田 雅人	神奈川県	85kg級	5位	9人中
レポート	<p>日本ボディビル連盟としては、JOCによる派遣は3回目になります。日本選手権終了後13日後での大会であり、6選手とも良いコンディションで参加できました。コンテスト会場はバリ島の西に位置するクタ湾のビーチをバックにして、ショッピングセンターの敷地内で行われました。18日夕方6時よりにプレジャッジが行われ、6人全員が決勝進出を果たしました。19日も同時刻より決勝のフリーと規定審査が行われ、日本選手としては6位以内の入賞を果たしましたが、後一步メダルに届きませんでした。しかし、内容としては75kgまでのベテランの選手についてはもう少し上に行ってもおかしくないと感じました。80、85kgの二人も国際大会の経験が少ない中、堂々と競い合い、ひけをとりませんでした。特にフリーポーズについては、全員良く取れていました。</p> <p>ただ、気がついた課題はあります。近年アジアのレベルが上がり、世界チャンピオンも何人もアジアから出ております。地元インドネシア、タイ、ベトナム、韓国、最近ではUAEなどからも、良い選手が出てきております。今年のアジア選手権にも出場している選手が、今大会も上位入賞をはたしていることから、アジアでメダルを取っていくには、アジアに数多く出場することも大事であること。また、基本的に土台をもっとしっかり作らなければ、勝てないということ。メダリストと比較すると、仕上がりや、部分的には日本人の方が勝っているところもあるが、背中の広がり、腕の太さなど目をひくところでは差がある。そして、バランスである。今後日本選手が国際大会で勝つには基本ではあるが、まず大きさ、バランスが大事で、仕上がりばかり気にして小さくしないことが大事である事が認識された大会であった。</p>				

※ 本報告書は帰国後1ヵ月以内に大会結果表を添付して日本連盟事務局に提出して下さい。

※ レポート欄が足りない場合は別紙に記入して添付して下さい。